

[様式第3号]

資料提供年月日	令和元年 5月20日	
問い合わせ先	課名	危機管理室
	電話	直通 803-1082 内線 5852
担当者	職名・氏名	課長 田村隆洋
	職名・氏名	副主幹 黒川隆一

広 報 連 絡

- 件名 (行事名) ～出水期に備え、水防訓練を行います～
令和元年度岡山市水防訓練
- 日時 令和元年5月26日(日)
午前10時00分～12時00分
- 場所 岡山市中区桑野116-3
岡山市消防教育訓練センター
- 主催等 岡山市災害対策本部長 岡山市長 ^{おおもり}大森 ^{まさお}雅夫
- 趣旨 梅雨、台風等の出水期に備え、水防活動を円滑に行い
水害発生および被害拡大を防止するため、水防訓練を実施します
- 備考 参加総数 約350人
(市長以下市職員、消防団員および市民)
添付資料 令和元年度岡山市水防訓練実施要領
令和元年度岡山市水防訓練付近見取図
令和元年度岡山市水防訓練配置図

令和元年度 岡山市水防訓練実施要領

1 目的

昨年の7月豪雨災害により、大規模な浸水被害が発生しました。この豪雨を受け、自助・共助による協力を得ながら、市・市民が連携した浸水対策への取り組みが重要であると再認識したところです。

今回の訓練では、7月豪雨災害の漏水（噴砂）現象等を再現し、それに適した水防工法の習得を中心とした訓練、土砂災害からの救出・救助訓練を行い、併せて地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とします。

2 訓練日時 令和元年5月26日（日）午前10時00分～12時00分

3 訓練実施場所 岡山市中区桑野116-3 岡山市消防教育訓練センター

4 訓練参加機関 総人員 約350名

(1) 岡山市 岡山市長以下 約200名

- ① 危機管理室
- ② 北区役所
- ③ 中区役所
- ④ 東区役所
- ⑤ 南区役所
- ⑥ 産業観光局
- ⑦ 都市整備局
- ⑧ 下水道河川局
- ⑨ 消防局

(2) 消防団 消防団長以下22分団（分団員約90名）

(3) 市民 東区民及び水防工法体験を希望する市民（約60名）

5 訓練想定

梅雨前線の停滞に伴う雨が断続的に降り続いており、大雨、洪水警報、大雨に関する情報、土砂災害警戒情報が発表されています。河川の水位は上昇を続け、「水位観測所」では26日午前8時に、氾濫注意水位を越えたため、『水防警報（第2号）』が発表されました。

6 訓練内容

(1) 水害の発生を未然に防止するとともに、実践的な水防活動を構築

- ① 職員・消防職団員の招集
- ② 消防ドローンによる情報収集及び土砂災害からの救出・救助訓練
- ③ 消防無線・MCA無線による通信訓練（区災害対策本部）
- ④ 区役所職員等による現地パトロール訓練
- ⑤ 区役所職員による資材搬送訓練
- ⑥ 職員・消防職団員による水防工法習得訓練

(2) 区災害対策本部の情報収集及び指示命令訓練

(3) 職員及び消防職団員による水防工法の習得訓練

(工法については、昨年の被災時に発生した、噴砂に対する工法として適した釜段工法、堤防越水に対する工法として適した積み土のう工法、改良積土のう工法Ⅱとします。実践的な訓練とするため、実際に水が噴出している場所に釜段工法を実施します。)

①～④ 釜段工法（消防職団員）4箇所

⑤～⑥ 改良積土のう工法Ⅱ（消防職団員及び消防職員）各1箇所

⑦ 積み土のう工法（市職員）1箇所

(4) 市民による水防工法の体験（⑧積み土のう工法）

① 土のうづくり

② 積み土のう工法

7 その他

(1) この訓練は、その趣旨と内容から、当日が雨天等の場合でも実施します。

(2) 訓練を中止する場合は、次のとおりです。

●岡山地方気象台から気象警報が発表された場合、あるいは前日から大雨等が続き災害が発生するおそれがある場合。

●地震の場合、前日及び当日（訓練実施中を含む）において「岡山県南部で震度4以上」の地震を観測した場合。

(3) 訓練実施・中止の確認

岡山市危機管理室のホームページに訓練当日（5月26日）午前6時00分に「訓練の実施あるいは訓練の中止」を掲載します。中止の掲載は、それ以前でも決定後速やかに行いますので「岡山市水防訓練」で検索してください。

令和元年度岡山市水防訓練付近見取図



岡山市水防訓練配置図 岡山市消防教育訓練センター

